

## 令和7年度 産業・情報技術等指導者養成研修

### 受講案内

教科（農業：A-1）

1 研修期間 令和7年7月28日（月）～令和7年8月1日（金）

2 研修日程 別添1のとおり

3 講師一覧 別添2のとおり

4 会場 クリエート浜松 静岡県浜松市中央区早馬町2-1  
電話：053-453-5311  
FAX：053-453-5379  
京丸園株式会社 静岡県浜松市中央区鶴見町380-1  
電話：053-425-4786  
FAX：053-425-5033

連絡先：NPO法人 しづおかユニバーサル園芸ネットワーク  
静岡県浜松市中央区鶴見町380-1  
担当 事務局 鈴木 緑（電話 053-425-4786 京丸園(株)  
E-mail [s.u.e.n@world.ocn.ne.jp](mailto:s.u.e.n@world.ocn.ne.jp) / [kyomaru@ck.tnc.ne.jp](mailto:kyomaru@ck.tnc.ne.jp)

5 研修初日の集合時間及び場所

7月28日（月）午前9時20分  
「クリエート浜松」 4階 特別会議室（受付を行います）  
※会場の周辺（案内）は別紙3のとおり。

6 持参するもの 筆記用具、昼食

- ・「生物活用」「地域資源活用」「農業経営」「食品流通」（実教出）の教科書のある人は持参してください。（「○○の実践」章のコピーでも可）
- ・7月29日（火）は見学・実習となります。  
暑さが予想されること、屋外やハウス内での見学実習になるため汚れても良い涼しい服装をお願いします。  
この日の昼食については会場にて用意します、当日現金にてお支払いとなります

7 宿泊について

- ・宿泊の斡旋はいたしません。浜松駅周辺に宿泊施設が多数ございます、宿泊先は各自で確保してください。  
(会場は浜松駅北口方面になりますので、ホテルも北口にあるところが便利です)

8 事前課題の作成について

- ・研修参加者事前提出課題を、別添4の様式に従い、A4用紙1～2枚程度で作成し、7月20日（日）までにメールにて事務局までお送りください。  
研修冊子に入れるため事前にいただくようお願いします。
- ・個人情報については、本研修の目的以外には使用しません。

9 その他

- ・7月28日（月）午後6時30分から指導調査官を交えた情報交換会を予定しています（予算は5千円程度）。
- ・7月29日（火）以外の昼食は、会場周辺の飲食店、コンビニエンスストア一等（会場内での飲食は可能ですが）を利用するなど、各自でご用意ください。

(別紙様式1)

## 令和7年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(農業 A-1)

団体名 特定非営利法人 しづおかユニバーサル園芸ネットワーク

日 時	9:00	9:30	10:00	11:00	12:00	12:30	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
2025.07.28 (月)	開 講 式	【研究協議】 自己紹介・所属校紹介 目標と課題を明確化する (久保田・1)	【講義】 農業教育の現状 と課題 (吉田調査官・1)	昼休み	【講義】 これからの農業の可能性 (平野・2)	【講義】 学習指導要領のねらい、 実験・実習とは何か (久保田・2)	諸連絡					
2025.07.29 (火)	【講義】 農福連携と農業経営 (鈴木・2)	【講義】 スマート農業の取り組み (斎藤・1.5)	昼休み	【演習・見学】 ユニバーサル農業の実際 スマート農業の実際 (鈴木・2)	【演習】 新分野の実験・実習とは (久保田・1.5)	諸連絡						
2025.07.30 (水)	【講義】 みどりの食糧システム戦略・有機農業 ・SDGs (吉田・2)	【講義】 プロジェクト 学習とは何か (久保田・1)	昼休み	【講義】 農業をコンビナートに (中村 1.5)	【演習】 社会科学分野の実験・実習とは (久保田・2.5)	諸連絡						
2025.07.31 (木)	【講義・演習】 新しい「農業経営」の戦略 (岩崎・3)	昼休み	【講義】 中学校技術「生物育成」 から学ぶ (荒木・2)	【講義】 園芸の特性と活用 (豊田・2)	諸連絡							
2025.08.01 (金)	【演習】 新しい実験・実習 (久保田・2)	【演習】 教科「農業」の 評価と評定 (久保田・1)	閉 講 式									

実施会場： クリエート浜松・京丸園（株）（静岡県浜松市）

(別紙様式2)

団体名 非営利活動法人

しづおかユニバーサル園芸ネットワーク

講 師 — 講 優

氏 名	職 名	担 当 講 座
荒木 祐二	埼玉大学教育学部 教授	・中学校技術「生物育成」から学ぶ
岩崎 邦彦	静岡県立大学 経営情報学部教授	・新しい「農業経営」の戦略
久保田 豊和	NPO法人しづおかユニバーサル園芸ネットワーク 理事長  静岡県立田方農業高等学校 校長	・目標と課題を明確化する ・学習指導要領のねらい、実験・実習とは何か ・新分野の実験・実習とは ・プロジェクト学習とは何か ・社会科学分野の実験・実習とは ・新しい実験・実習 ・教科「農業」の評価と評定
斎藤 洋太郎	一般社団法人アグリオーブンイノベーション機構 (AOI-PARC) コーディネーター	・スマート農業の取り組み
鈴木 厚志	京丸園株式会社 代表取締役  NPO法人しづおかユニバーサル園芸ネットワーク 理事	・農福連携と農業経営 ・ユニバーサル農業の実際 スマート農業の実際
豊田 正博	兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント 研究科客員教授	・園芸の特性と活用
中村 健二	株式会社フードランド 代表取締役 & CEO	・農業をコンビナートに

平野 耕志	<p>キウイフルーツカントリー Jaqan 代表</p> <p>株式会社 Natadiana General Dealers 外部取締役</p>	・これからの農業の可能性
吉田 茂	<p>NPO法人しずおかオーガニックウェブ(SOW) 代表</p>	・みどりの食糧システム戦略 ・有機農業・SDGs
吉田 幸人	<p>文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官</p>	・農業教育の現状と課題

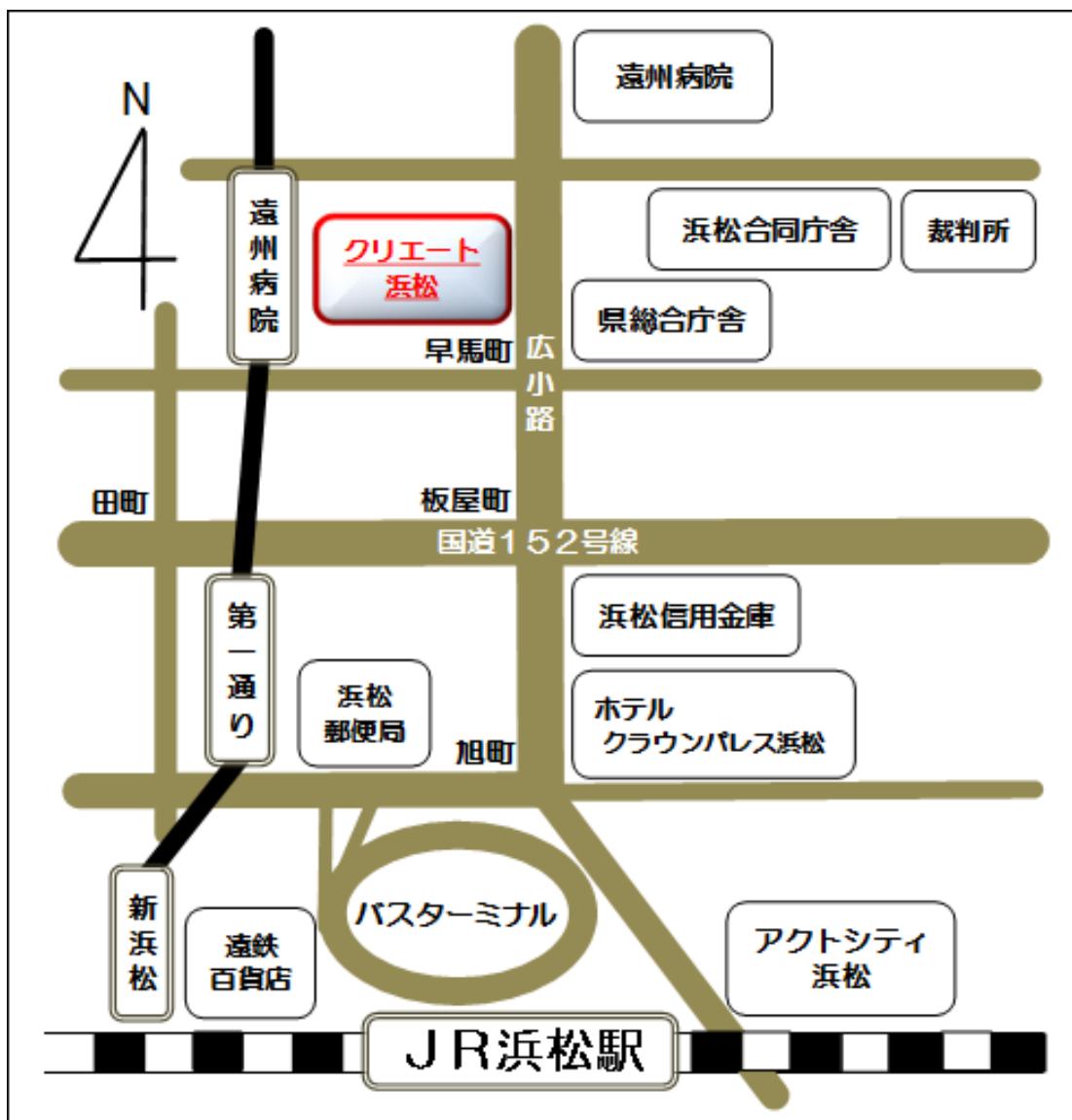
(別添3 会場案内図)

## クリエート浜松

〒430-0916 静岡県浜松市中央区早馬町 2-1

電話 : 053-453-5311 FAX : 053-453-5379

浜松駅北口徒歩 10 分



## 研修参加者事前課題

勤務校 :	県立	高等学校	科
勤務先住所: 〒			
勤務先電話 ふりがな		勤務先 FAX	
氏名 :			
メールアドレス:(連絡しやすい方に○) ( )学校 ( )個人			

## 1 参加者の主な指導科目

記入例) 「野菜」3年 4単位・「生物活用」3年選択 2単位

## 2 研修参加の主な目的(箇条書きで課題等も記入してください。)

## 3 貴校における「生物活用」「地域資源活用」「農業経営」「食品流通」の中から本研修で取り上げたい科目を一つ選びその取り組み状況について(該当に○)を付けてください。

取り上げたい科目名「」

( )現在自分が指導中 ( )現在他の教諭が指導中

( )\_\_\_\_\_年より実施予定 ( )科目\_\_\_\_\_で類似内容指導

( )本校では行っていない

- \* 以下、科目設置学科・学年・単位数・受講生徒数・指導形態・指導内容・学外との連携や交流の有無や内容・課題を箇条書きでまとめて下さい。
- \* 年間指導計画(シラバス)など別途資料がある方は、ぜひご提出ください。  
資料は25部準備し、当日会場へお持ちください。
- \* ‘本校では行っていない’に該当される方は、“取り上げたい科目について考えていること”、をお書き下さい。

## 事前課題

1、8月16日 講義「あたらしい「農業経営」農業のマーケティング」

講師 岩崎 邦彦

農業のマーケティング教科書 食と農のおいしいつなぎかた

(日本経済新聞出版社) 岩崎 邦彦

もしくは岩崎先生の著書一冊を事前に読んでおいてください。

2、8月17日 講義「農業法人の可能性」講師 鈴木 厚志

「農福連携をめぐる情勢 農林水産省」を事前に読んでおいてください。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/houfuku/attach/pdf/index-23.pdf>

検索「農福連携 農林水産省」